



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

イエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」訳すと「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。マルコ一五・三四

讃美★新110	都の外なる	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新112	カルヴァ山の十字架	—	同
交読詩篇	22:1~18	—	同
祈			渡邊頼子師
聖書	マルコ15:21~41		司会者
説教	「主イエスの十字架」		渡邊貞雄師
献金★新113	君もそこにいたのか	個人個人で	
頌栄	新63 父、御子、御霊の	(起立) 一同	
祝			

★印。=全節朗読

報告 司会者
受=なし / 操=渡邊師 / A=なし / 報=牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子



2022年4月10日 VOL. 45-15 No. 2371

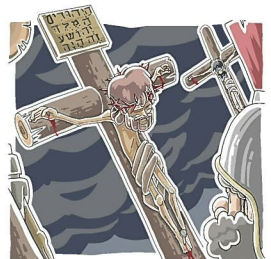
URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日は棕櫚の聖日(パームサンデー)で、受難週の始まりとなります。また来週日曜は、復活節(イースター)の記念の日となります。藤本満先生から受難週の霊想のプリントが届きました。よろしかったらご利用ください。
- ▼ 4月の中部教区祈祷課題 (CCPN誌)

ができております。今月も力強くお祈りを捧げましょう。

- ▼ 先週5日(火)に、佐々木正子姉(洗礼名:アンナ、100歳)が召されました。7日(木)に葬儀が持たれました。ご遺族の上に慰めが豊かでありますようにお祈りください。



- 来週礼拝マルコ16:1~8
- 主 題「希望への十字架」

にれ はみ

2022年4月3日
聖日礼拝
マルコ14:66~72
「火にあたるペテロ」
説教 渡邊貞雄 師



主はユダが連れてきた者たちに捕縛された。またペテロが主を「知らない」と否定する出来事が起こった。

I、召使いの女性

大祭司の庭でペテロは、女性からじっと見られ「あなたもナザレ人イエスと一緒にいましたね」と言われた(66、67)。召使いは治安に心し敏感であり、彼女は記憶の中でペテロの顔を再び思い出し、第六感も働かせて問い続けたのでしょうか。

更にこの女性だけでなく他の者たちも、確かに仲間だ、ガリラヤなまりがあるのだからと言われてしまった。女性の一言が周囲に波及、拡大し、ペテロは窮地に追い込まれてしまった。

II、ペテロの3度の否認

ペテロは3回の質問に3回否認した。①一緒にした(67)、②仲間でした(69)、③仲間だ、ガリラヤなまりがある(7)と言われた。ペテロは返答に①わからない、理解できない(68)、②同じく否定(70)、③神に誓い呪われても断じて違うと言った(71)。

自分の弱さをどう自覚出来るのだろうか。主イエスから「鶏が2度泣く前

に3度わたしを知らないと言う」と予告され、ペテロは「力を込めて、たとえと一緒に死ななければならないとしても、あなたを知らないとは…申しません」と否定した(14:30、31)。ある人は「彼は決意は固く、純真であったのに、もろくも崩れた。人間的な意思に立っていたからだ」と解説した。

III、ペテロの弱さの自覚

①女性や周囲の詰問にではなく三段階で反応した(72)。①鶏の鳴き声に反応した。②みことばを思い出した。③「泣き出した」「泣き崩れた」。ルカには「激しく泣いた」とある。

人は自らの姿に愕然とし、声の限り泣く。泣く時、何かを洗い流し何かを整え直し新しい力となる経験をする。涙で洗い流される時、心のプライドや恥や汚れも洗い流され、主からもたらされる力を発見する。

イエスは私を1人残す時が来ると語られた(ヨハネ16:32)。私たちも何もできない自分に気づき、十字架による力を求めることが大切である。

そうする時、心が吹き抜け、主の力に信頼する生き方へと変えられる。